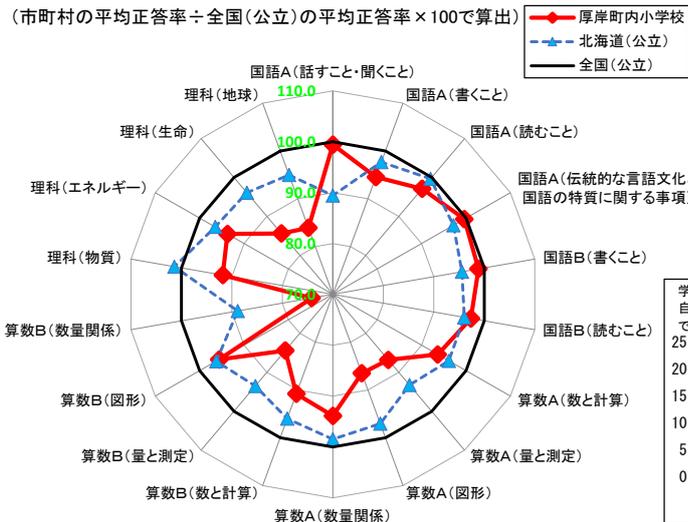


■厚岸町内小学校の状況及び学力向上策(学校数:5、児童数:91名)

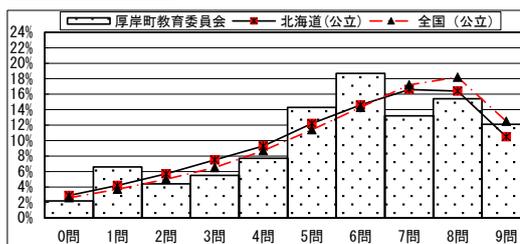
【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの

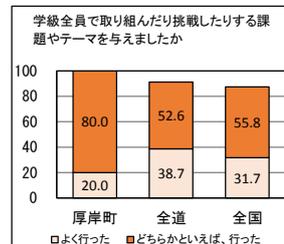
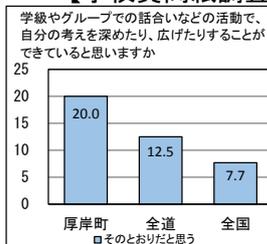


【正答数の状況】

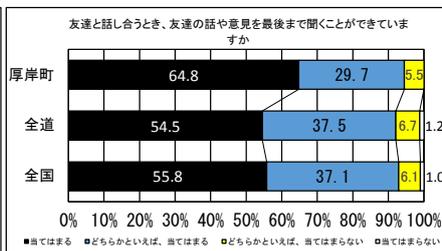
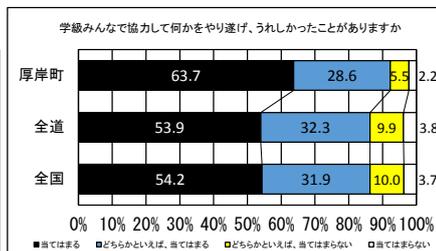
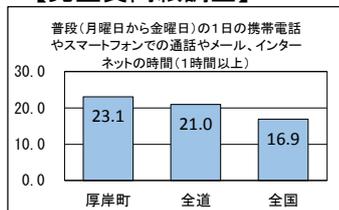
小学校国語B



【学校質問紙調査】



【児童質問紙調査】



【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語Aでは、「話すこと・聞くこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」で全国とほぼ同様である。 ○ 国語Bでは、「書くこと」で全国とほぼ同様になっている。特に記述式問題の平均正答率が高く、無解答率が低い。また、正答数の状況が全国とほぼ同様である。 ○ 算数A・Bともに全国の平均正答率を下回っている。特に算数Bの「数量関係」は全国との差が大きい。 ○ 理科では、全国の平均正答率を下回っているが、平成24年度と比べると改善している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学校において、学級やグループなどで話し合い活動を位置付けた授業改善が図られたことにより、児童は自分の考えを深めたり、広げたりしながら、着実に基礎的・基本的な知識・技能を身に付けてきていると考えられる。今後は、「自分の考えを書く」「授業や単元の終末で、繰り返し指導を位置付ける」「観察や実験の技能を重視する」などの取組を一層推進していく。 ○ 学級の児童全員で取り組んだり挑戦したりする課題を与えたことにより、仲間と協力して物事をやり遂げる喜びを実感するとともに、よりよい学級風土が醸成されてきていると考えられる。
児童質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「みんなで何かをやり遂げ、うれしかった」と回答した児童の割合が全国及び全道を上回っている。 ○ 携帯電話やスマートフォンなどの情報端末機器を1時間以上使用する児童の割合が全国や全道を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 携帯電話やスマートフォンなどの情報端末機器を使用する児童の割合が高いことから、家庭でのルールづくりを啓発するとともに、望ましい生活習慣を定着させるため、家庭との連携を図る必要がある。
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「児童は、学級やグループでの話し合いなどの活動で、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている」と回答した学校の割合が全国を上回っている。 ○ 「学級全員で取り組んだり挑戦したりする課題やテーマを与えた、どちらかというを与えた」と回答した学校の割合が、全国を上回っている。 	

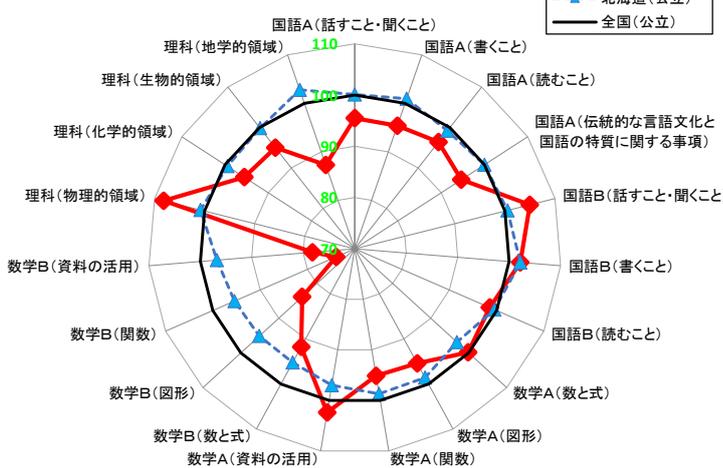
【厚岸町の学力向上策】

- ◎ 授業改善(反復練習の継続とノート指導を通した「書く」指導)の継続
- ◎ 操作活動や実験・観察の技能を高める授業の推進
- ◎ 学習規律の徹底と、楽しく学ぶ環境づくりの推進
- ◎ 家庭での生活習慣の改善(学習時間や読書時間の確保、情報端末機器の活用についてのルールづくり)を図るための啓発

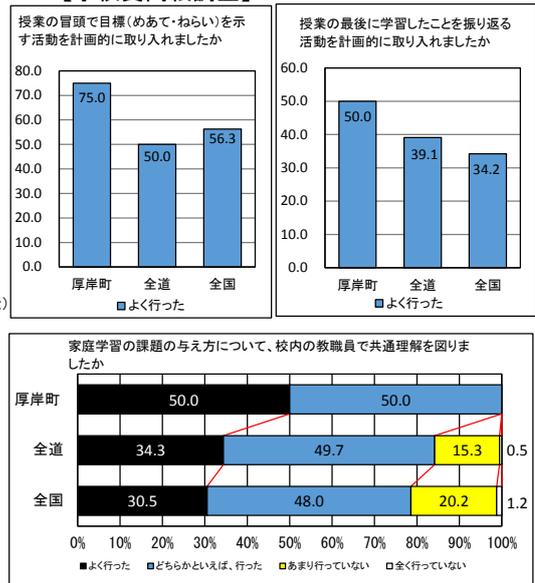
■厚岸町内中学校の状況及び学力向上策(学校数:4、生徒数:88名)

【教科全体の状況】

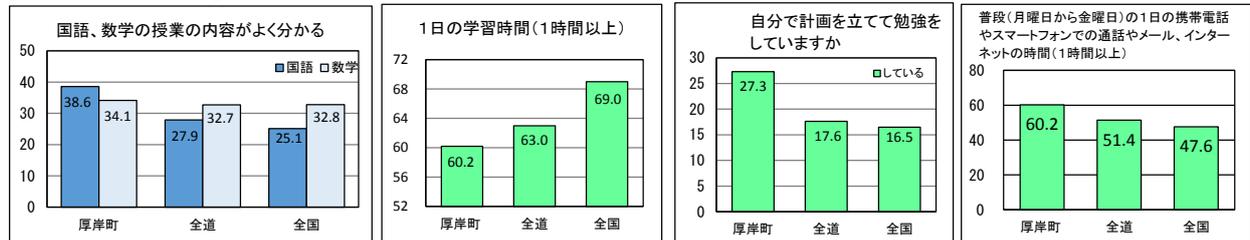
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
 (市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【学校質問紙調査】



【生徒質問紙調査】



【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語Bでは、全国の平均正答率を上回り、「話すこと・聞くこと」「書くこと」で、全国を上回っている。 ○ 数学Aでは、全国の平均正答率を下回っているが、「資料の活用」は全国及び全道を上回っている。 ○ 数学Bの「関数」「資料の活用」で、全国との差が大きい。 ○ 理科では、「物理的領域」で全国及び全道を上回っているが、「地学的領域」で、全国との差が大きい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 授業の導入で目標や課題を提示したり、終末で振り返りを行うなど、基本的な学習過程に基づく指導を行ったことにより、授業内容を理解する生徒が増えてきたと考える。 ○ 家庭学習の指導について、全教職員で共通理解を図り指導したことにより、自分で計画を立てて学習する生徒が増えたと考える。
生徒質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語、数学の授業の内容がよく分かると回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 家で、自分で計画を立てて勉強をしている生徒の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 1日1時間以上学習する生徒の割合が、全国及び全道を下回っており、インターネットやメールをする生徒の割合が全国及び全道を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 1日当たりの学習時間が短く、携帯電話やスマートフォンなどの情報端末機器を使用する生徒の割合が高いことから、家庭でのルールづくりを啓発するとともに、望ましい生活習慣を定着させるため、家庭との連携を図る必要がある。
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 授業の冒頭で目標を示したり、授業の最後に振り返りを行ったりする学校の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 家庭学習の与え方について全教職員で共通理解を図っている学校の割合が、全国及び全道を上回っている。 	

【厚岸町の学力向上策】

- ◎ 授業改善(反復練習の継続とノート指導を通した「書く」指導)の継続
- ◎ 体験活動や実験・観察の技能を高める授業の推進
- ◎ よりよい人間関係づくりの一層の充実
- ◎ 家庭での生活習慣の改善(学習時間や読書時間の確保、情報端末機器の使用についてのルールづくり)を図るための啓発